

50年、100年先を見据え、地域に根ざした八潮らしい街並みづくりを推進するため、八潮市では、八潮街並みづくり100年運動実行委員会と協働し取り組み、地域に根ざした八潮らしい街並みづくりのコンセプトである、「家族」「地域」「街並み」の3つの「つながり」を取り入れた、家づくりの普及を行っています。そこで、このコンセプトを取り入れた住宅を紹介します。また、実行委員会と連携する5大学が細部まで八潮にこだわった部材を利用し、家づくりを行いました。



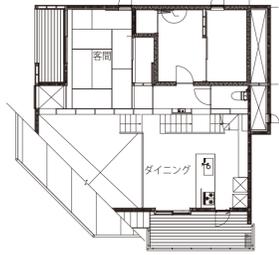
軒を深くすることで、屋根のかたちを配慮し、自然素材である木の外壁が印象的な外観



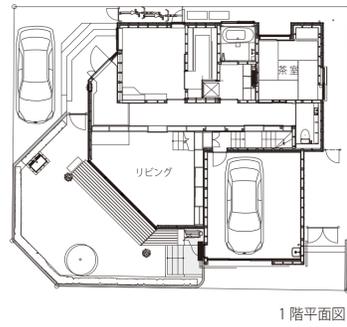
屋内外をつなぐテラスと町並みを彩る庭と生垣



連続する内部空間



2階平面図



1階平面図



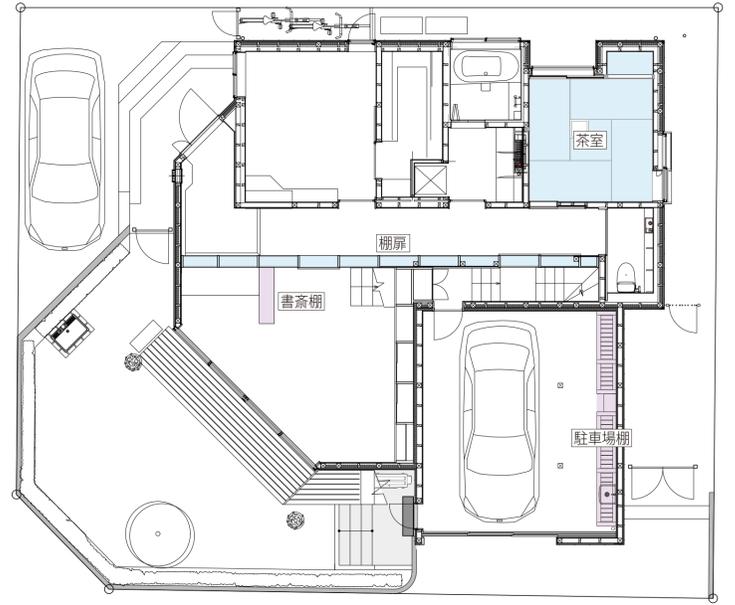
proposal\_建具

ツインカーボとシナベニアで棚の扉を製作した。二種類の扉が棚に独特のリズムを与えている。ツインカーボの建具は、明障子のように柔らかく光を透過する。



proposal\_茶室

八潮市内で採れた材料を使用することこだわった茶室。市内の土を使用した土壁は、土を焼くことで色味を変化させた。天井は、市内の工場である平澤製作所のビューラーの廃材を紐で縫い合わせ製作した。



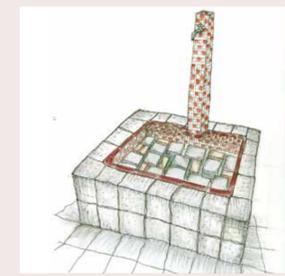
proposal\_書斎棚

書斎で使うために考えられた棚。色は床と合わせたものになっている。棚の高さは机と揃えて使えるようにしてある。リビング側からも使えるように背板が中央にある部分もある。



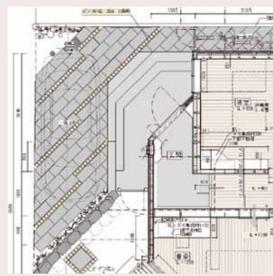
proposal\_駐車場棚

室内にしまいきれない道具や家庭菜園で使う道具を収納するための棚。壁に沿って屋内用、屋外用と分けて設置した。様々なものに対応できるように幅広い棚にし、長いものも収納できるように縦長の棚を設けた。



proposal\_外流し

廃材の御影石ピンコロ・ブロックを使って外流しを囲い、受け皿にも敷き詰めた。合わせてモザイクタイルを使い水栓柱の装飾を施した。



proposal\_玄関アプローチ

コンクリート平板を基調に、アクセントとしてピンコロ石を敷いた。配列の角度は玄関や生垣のラインを基準に定めている。



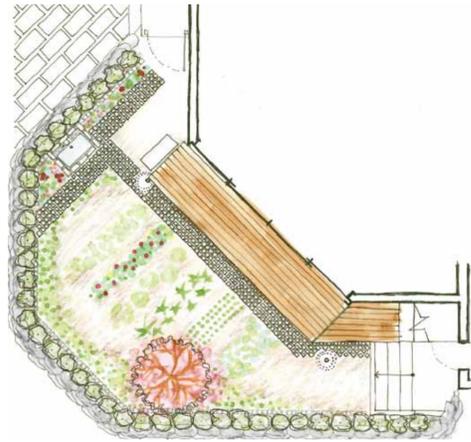
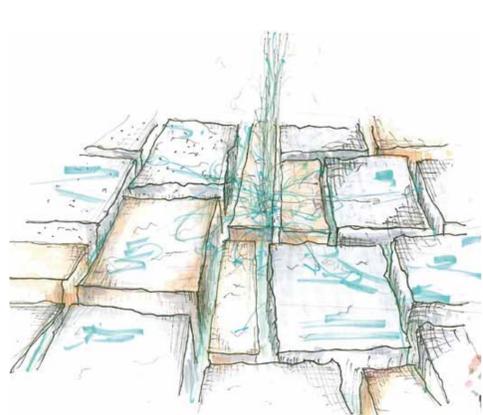
proposal\_版築

茶室からのアイ・ストップからの、版築の壁を提案した。土のやわらかい表情と、テーパーを付けた不均一な壁面による陽光の反射が、茶室に独特の雰囲気を与える。



proposal\_植栽・瓦土留め

路地の奥行きにしたがってシマ状に植栽を点在させた。各シマには視覚効果を考慮して四季折々の花々を配置した。また、瓦土留めによって植栽を仕切ることで路地のアクセントにした。



proposal\_生垣：樹種の選定

リビングからの風景と住宅のファサードを考慮して生垣を選定した。道路面との段差を解消しつつ、外部からの視線をさえぎるために樹種の色合いや高さをスタディした。



proposal\_ピンコロ石施工

テラスと畑を仕切る仕掛けとしてピンコロ石を敷き詰めた。前面道路を行きかう人々との交流や、家庭菜園時の動線を考慮して、住宅と地面との間に干渉ベースを形成した。



proposal\_ビューラー鎖樋

茶室横の雨樋は市内の工場である沼澤製作所のビューラーの廃材を組み合わせて製作した。組み合わせ方や配列を調整することでオリジナルかつ八潮らしい鎖樋を目指した。



proposal\_アスファルト飛び石

露地には飛石を敷き、茶室へのアプローチを演出した。アクセントとして廃材のアスファルトを使い、道のりのなかに八潮らしさをとり入れた。